

漁海況情報

沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話：098-852-4530・4531 F A X：098-852-4533

2015年(平成27年)10月 第515号

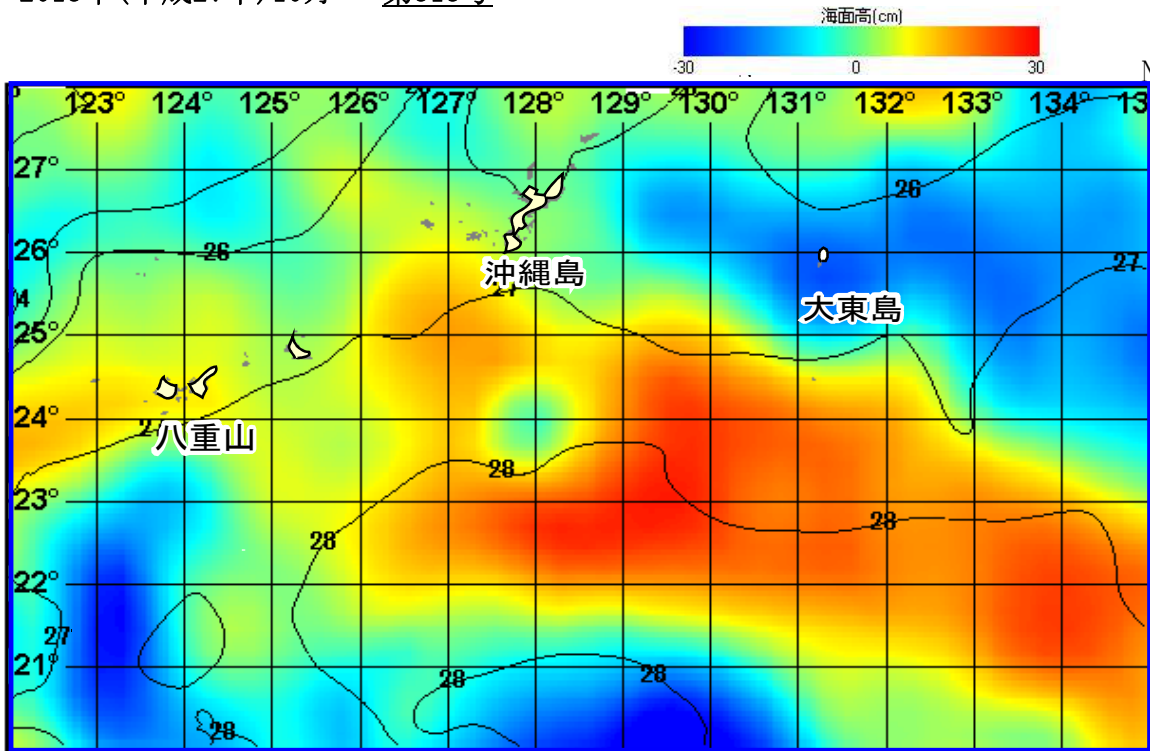


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2015年10月31日)

海況案内人の最新情報は下記URLで行っています。
URL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
携帯電話からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

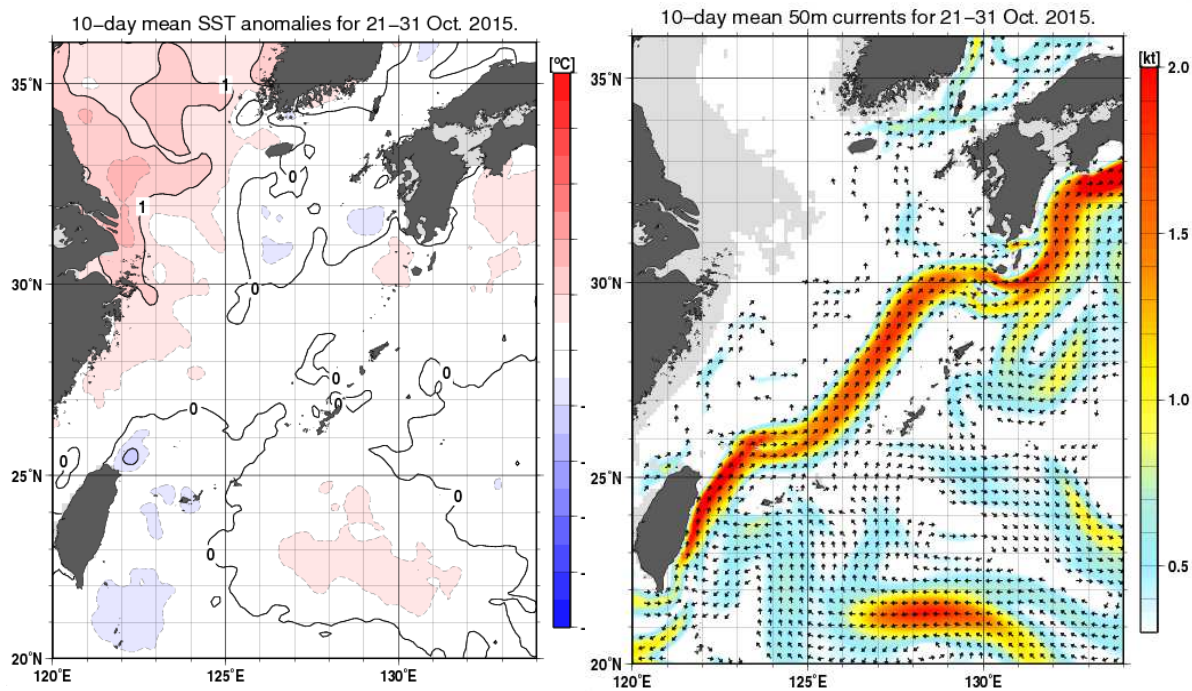


図2. 2015年10月下旬海面水温偏差図(左)及び海流図(気象庁HPより)

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、伊良部ではシビ、キハダ、カツオ、シイラの水揚げが多かった。

表1. 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	2.7	1.1	0.2	0.2	4.1	7.7	17.2
カサジキ	0.4	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0	1.1
沖サワラ	1.1	0.3	0.1	0.1	1.6	0.1	2.0
カツオ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	9.9
キハダ	16.2	6.2	1.7	0.8	24.9	12.5	57.1
シビ	1.8	1.4	0.1	1.0	4.3	14.0	18.9
メバチ	0.4	0.0	0.5	0.9	1.8	0.0	2.3
計	22.7	9.1	2.9	2.9	37.5	44.0	108.5

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2. 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					
	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	23.9	16.9	8.2	70.6
2014年	13.6	22.1	16.5	18.8	12.8	83.9
2015年	53.0	32.2	37.7	56.8	24.9	204.6

表3. 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					
	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	20.6	16.8	9.5	83.9
2014年	5.6	8.3	11.8	11.2	9.3	46.2
2015年	9.3	6.5	5.6	5.8	4.3	31.6

表4. 6~10月のシイラ漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					
	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	0.2	1.8	6.2	11.3
2014年	2.5	0.2	0.6	3.0	3.4	9.6
2015年	1.3	0.1	0.3	2.7	4.1	8.5

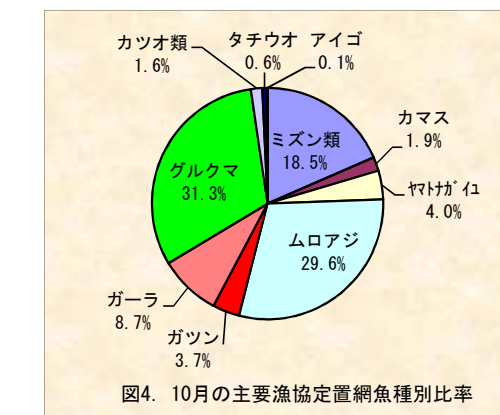
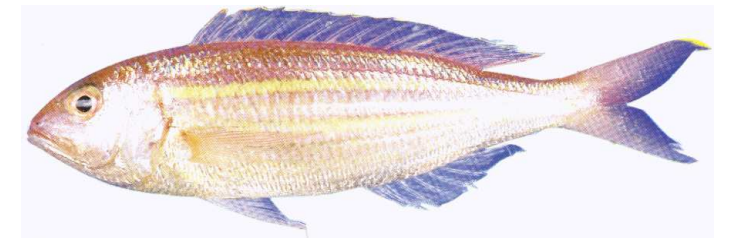


図4. 10月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：10月の全体の漁獲状況は16,205kgで、先月(17,053.4kg)と比べて減少した。グルクマの漁獲が全体の31.3%、ムロアジが29.6%、ミズン類が18.5%を占めた(表5、図4)。

注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。



トンキンイトヨリ(イジュキン)

糸満ではキハダが16.2t、港川ではキハダが6.2t、シビが1.4t漁獲された。知念ではキハダが1.7t、メバチが0.5t漁獲された。沖縄市ではシビが1.0t、メバチが0.9t、キハダが0.8t漁獲された。伊良部ではシビが14t、キハダが12.5t、カツオが9.7、シイラが7.7t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

10月のキハダの漁獲量は、24.9tで9月(56.8t)に比べて31.9t減少。昨年の10月(12.8t)と比較すると12.1t増加した(表2、図3)。シビの漁獲量は4.3tで、9月(5.8t)と比べて1.5t減少した(表3)。シイラの漁獲量は4.1tで、9月(2.7t)と比べて1.4t増加した(表4)。

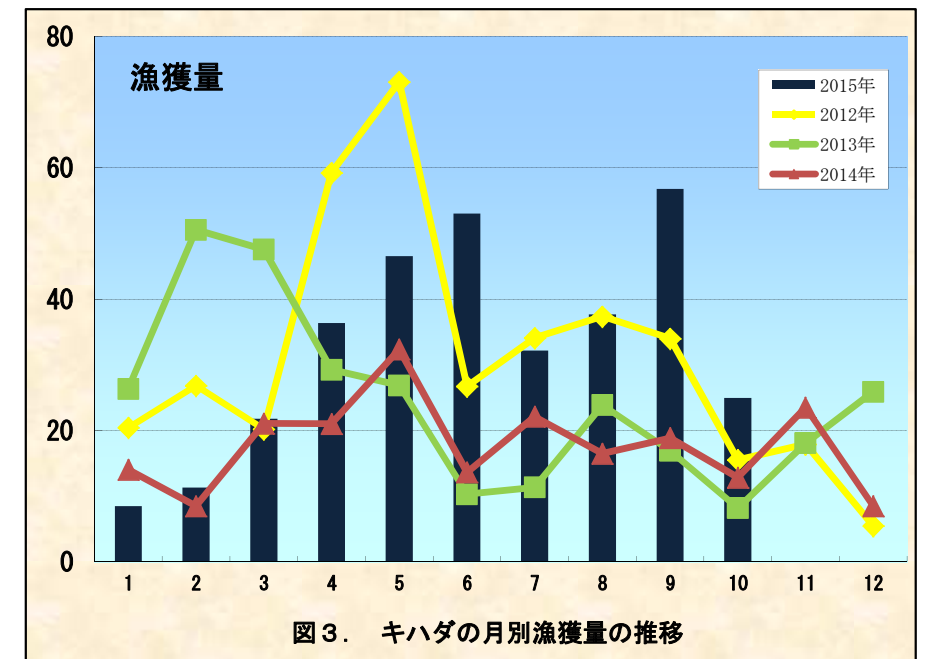


図3. キハダの月別漁獲量の推移

表5. 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	勝連	与那城		
ミズン類	1,102.9	138.5	66.6	1,230.5	0.0	451.4	2,989.9	2,989.9
カマス	166.5	41.2	56.4	44.6	6.5	0.0	315.2	317.9
ヤマトカサジキ	580.7	0.0	56.1	13.4	0.0	1.4	651.6	651.6
ムロアジ	4,704.0	52.4	28.6	1.1	0.0	0.0	4,786.1	4,786.1
カツン	475.0	20.3	43.9	31.6	28.7	6.2	605.7	607.1
ガーラ	909.9	184.8	162.1	106.2	33.7	4.0	1,400.7	1,403.6
グルクマ	4,357.1	87.9	332.4	273.6	12.3	0.0	5,063.3	5,064.3
カツオ類	239.0	0.0	14.8	3.7	0.0	0.0	257.5	257.5
タチウオ	4.6	100.0	0.0	0.0	0.3	0.0	104.9	104.9
アイゴ	0.0	8.3	0.0	2.7	0.0	4.5	15.5	22.1
合計	12,539.7	633.4	760.9	1,707.4	81.5	467.5	16,190.4	16,205.0

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。